

**令和3年度（第1回）  
福岡市総合図書館運営審議会**

日時：令和3年11月5日（金）

午前10時30分～12時00分

場所：福岡市総合図書館 第1会議室

〔次第〕

1 開会

総館長挨拶

2 議事

議題 令和2年度事業報告について

3 報告事項

報告1 令和2年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について

（福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議の報告）

報告2 早良南図書館の開館について

4 閉会

福岡市総合図書館運営審議会委員名簿

任期：令和2年7月9日から令和4年7月8日まで

委嘱区分	氏名	役職名
学校教育 関係者	西川 秋生	福岡市立馬出小学校校長
	松下 誠	福岡市立住吉小中学校校長
	渡邊 由紀子	九州大学附属図書館 学術サポート課長
社会教育 関係者	箱島 明子	福岡市七区男女共同参画協議会代表
	萩尾 憲子	福岡市公民館館長会 副会長
	上村 篤子	福岡市社会教育委員
家庭教育 関係者	豊澤 絵里奈	福岡市PTA協議会 副会長
読書活動 団体関係者	西 聡子	福岡おはなしの会代表
学識 経験者	高橋 昇	九州女子大学 名誉教授
	白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
	脇川 郁也	福岡県詩人会代表幹事
	脇山 真治	九州大学 名誉教授
本市の 住民	森 望	公募委員
	宮本 直嗣	公募委員

## 令和2年度事業報告について

### I 利用状況

図書館全体	・ ・ ・ ・ ・	1
図書館資料部門	・ ・ ・ ・ ・	2
文書資料部門	・ ・ ・ ・ ・	10
映像資料部門	・ ・ ・ ・ ・	11

### II 事業概要

図書館全体	・ ・ ・ ・ ・	13
図書館資料部門	・ ・ ・ ・ ・	16
文書資料部門	・ ・ ・ ・ ・	19
映像資料部門	・ ・ ・ ・ ・	22

# I 利用状況

## 図書館全体

### ○館別開館日数

開館日数について、総合図書館及び分館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月4日から同年5月25日まで臨時休館を行った。また、南図書館は、南市民センターの大規模改修工事に伴い、令和3年1月5日から令和4年8月上旬（予定）まで長期休館中である。西部図書館は建物の点検等が入ったため他の分館より開館日数が少ない。

(単位：日)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総合 図書館	246	271	290
東 図書館	289	334	341
和白 図書館	245	283	293
博多 図書館	245	283	291
博多南図書館	245	283	293
中央 図書館	245	283	293
南 図書館	181	283	293
城南 図書館	245	283	293
早良 図書館	245	283	293
西 図書館	245	283	293
西部 図書館	244	282	292

### ○総合図書館及び分館の入館者数

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総合 図書館	436 千人	780 千人	850 千人
東 図書館	290 千人	438 千人	286 千人
和白 図書館	77 千人	126 千人	118 千人
博多 図書館	67 千人	90 千人	75 千人
博多南図書館	73 千人	105 千人	87 千人
中央 図書館	122 千人	180 千人	140 千人
南 図書館	81 千人	174 千人	134 千人
城南 図書館	154 千人	225 千人	173 千人
早良 図書館	97 千人	141 千人	110 千人
西 図書館	128 千人	191 千人	147 千人
西部 図書館	111 千人	173 千人	129 千人

\*平成30年度の分館入館者数は、計測機器の調整を行ったことから平成30年8月～平成31年3月の8ヶ月間の計測人数の概算を表示している。

## 図書資料部門

### 1 個人貸出

#### ○新規登録者数

総合図書館と分館とアミカスを合わせた一日平均の新規登録者数は、前年度と比較して16.3%の減となっている。

(単位：人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	5,739	23	7,503	28	8,448	29
分 館	10,424	43	14,620	51	15,823	53
アミカス	395	1	405	1	441	1
合 計	16,558	67	22,528	80	24,712	83

\*科学館では、新規登録は行っていない。

#### ○貸出利用者数

総合図書館と分館とアミカス・科学館を合わせた一日平均の貸出利用者数は、前年度と比較して6.7%の減となっている。

(単位：人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	244,364	993	301,590	1,113	330,387	1,139
分 館	648,566	2,670	819,291	2,845	827,870	2,783
アミカス・科学館	56,930	228	58,003	211	56,145	198
合 計	949,860	3,891	1,178,884	4,169	1,214,402	4,120

#### ○貸出冊数

総合図書館と分館アミカス・科学館を合わせた一日平均の貸出冊数は、前年度と比較して4.9%の減となっている。

(単位：冊)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
総合図書館	931,291	3,786	1,123,960	4,147	1,242,075	4,283
分 館	2,186,203	9,000	2,704,610	9,391	2,739,367	9,208
アミカス・科学館	134,045	537	129,802	472	127,531	449
合 計	3,251,539	13,323	3,958,372	14,010	4,108,973	13,940

○自動貸出機・自動返却機の利用状況

自動貸出機の利用状況は、前年度と比較して1.2%の減、自動返却機の利用状況は、7.1%の増となっている。

(単位：冊／%)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
自動貸出機 利用冊数	1,503,595 / 48.2%	1,891,946 / 49.4%	1,976,379 / 49.6%
自動返却機 利用冊数	1,761,998 / 56.4%	1,887,671 / 49.3%	1,887,973 / 47.4%

○予約件数

予約件数は、前年度と比較してほぼ横ばいとなっている。

そのうちインターネットによる予約は760,157件で、予約件数全体の84.3%となっている。

(単位：件／%)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
インターネット	760,157 / 84.3%	735,618 / 79.5%	688,129 / 78.0%
館内検索機	57,865 / 6.4%	84,046 / 9.1%	83,301 / 9.5%
窓口・電話受付	84,215 / 9.3%	105,584 / 11.4%	110,476 / 12.5%
合 計	902,237 /100.0%	925,248 /100.0%	881,906 /100.0%

※平成19年10月からインターネット予約の開始

○図書館以外に設置している図書返却ポスト及び返却拠点の利用状況

利用者の利便性の向上を図るため、図書館外への図書返却ポスト及び返却拠点の設置を進めており、令和2年度からは14箇所で行った。

(単位：冊)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	合 計	一日平均	合 計	一日平均	合 計	一日平均
地下鉄博多駅	29,523	85	44,476	124	45,461	126
地下鉄別府駅	15,304	53	19,265	67	20,918	71
情報プラザ	25,601	74	36,321	101	38,214	106
入部出張所	5,817	30	8,387	37	9,636	26
西鉄薬院駅	5,371	23	6,926	28	4,371	24
地下鉄西新駅	13,270	47	16,788	59	16,539	57
福岡県立図書館	5,145	19	6,048	23	5,874	21
木の葉モール橋本	41,211	118	62,202	171	65,169	179
ふくふくプラザ	12,696	40	15,249	45	14,373	42
九州がんセンター	4,662	24	5,641	26	6,216	17
アイランドシティ	4,244	42	—	—	—	—
合 計	162,844		221,303		226,771	

- ※西鉄薬院駅は平成 29 年 10 月 31 日をもって一時閉鎖、平成 30 年 7 月 2 日より再開
- ※アイランドシティ（「センターマークスゲート」）は、令和 2 年 8 月 2 日取り扱い開始
- ※その他、福岡市男女共同参画推進センター（アミカス）図書室、公益財団法人博多駅地区土地区画整理記念会館図書室、福岡市科学館の 3 か所においても、返却受付を行っている。

○「有料宅配サービス」の利用状況

自宅等で予約した図書の受け取りができる「有料宅配サービス」については、前年度に比べ 41.9%の増であった。

(単位：冊)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用冊数	122	86	77

○福岡都市圏図書館の広域利用

平成 13 年度から福岡都市圏広域行政推進協議会の共同事業として、都市圏 17 市町 33 図書館では広域利用を行っている。

(単位：冊)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
福岡市の図書館における 福岡市民の貸出冊数	3,163,891	3,842,932	3,982,597
他市町の図書館における 福岡市民の貸出冊数	551,533	628,490	673,375
都市圏 33 図書館全体の 貸出冊数	8,995,939	10,579,324	11,292,686

\*福岡市の図書館には、アミカス図書室を含む。

○相互貸借利用状況

福岡県内外の公共図書館等と貸借を行い、図書資料の提供を行っている。

(単位：冊)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
借 入	6,283	7,801	9,417
貸 出	3,988	4,235	5,026
合 計	10,271	12,036	14,443

○大学図書館とのネットワーク

令和 2 年度 4 月 1 日現在、福岡市内にある 8 大学 12 図書館との協力により、専門者や学術書等の資料の提供を行っている。

(単位：冊)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
借 受	202	177	232
貸 出	59	36	231
合 計	261	213	463

○議会図書室との連携

平成 27 年 2 月から、市議会議員等の調査・研究を支援するため、議会図書室へ図書資料の貸出を行っている。

(単位：件、冊)

区 分	令和 2 年度	平成元年度	平成 30 年度
利用件数	16	23	12
貸出冊数	20	32	16

## 2 団体貸出

○団体貸出登録状況

団体貸出では、登録団体（公民館、留守家庭子ども会、病院や高齢者施設など）数は年々増加している。

(単位：団体、人)

区 分	令和 2 年度 (令和 3 年 3 月 31 日)	令和元年度 (令和 2 年 3 月 31 日)	平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日)
登録団体数	419	415	396
団体会員数	95,366	93,546	85,660

○団体貸出状況（配本冊数）

(単位：冊)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
児 童 書	146,138	176,127	180,658
一 般 書	23,675	31,021	31,848
合 計	169,813	207,148	212,506

## 3 調査相談

○図書資料の調査相談件数

レファレンス等の一日平均の調査相談件数は、前年度と比較して 3.1%減となった。

(単位：件)

区 分	令和 2 年度		令和元年度		平成 30 分年度	
	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均	年 度 計	一日平均
レファレンス 利用案内	65,034	268	95,504	334	102,439	345
	88,333	364	90,997	318	96,226	324
合 計	153,367	632	186,501	652	198,665	669



○国立国会図書館のレファレンス協同データベース登録状況

平成 25 年 5 月から開始した国立国会図書館レファレンス協同データベースへの当館のレファレンス事例登録状況は、前年度比 13.6%増、事例被参照数は、19.4%増となっている。  
(単位：件)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
事例登録数	125	110	113
事例被参照数	253,524	212,402	129,949

※全国の図書館等がレファレンス事例を登録し、図書館員や一般利用者に提供するシステム

○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用状況

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を対象に提供を行った。

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用者数 (人)	127	202	160
複写タイトル数 (件)	225	287	515
複写枚数 (枚)	3,289	2,668	2,632

○利用者用インターネット情報検索端末サービス

総合図書館 2 階のパソコンコーナーにインターネットが利用できるパソコンを 3 台設置し、利用者自身がインターネットで情報を検索出来るサービスを実施した。

(単位：人)

区 分	令和 2 年度		令和元年度		平成 30 年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
利用者数	126	2	5,756	21	7,095	25

○ホームページの複写サービス

インターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供した。

(単位：件)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
利用件数	7	9	27

## 4 読書行事

### ○概要

総合図書館では、子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、様々な幅広い層に向けイベントを、分館においては、地域の特色を生かしたテーマや独自の視点による多様なイベントを実施し、66回の開催で延べ1,508人の参加を得た。

### (1) 総合図書館

#### ○読書活動ボランティア講座

地域における子どもの読書活動を推進するため、ボランティア養成講座として読み聞かせ、ストーリーテリングの2コースを実施した。

平成28年度より経験者コースに、受講後一定期間(約3か月半)が経過した後、受講者のフォローアップを目的とした講座を追加実施した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
絵本の読み聞かせコース(初心者コース)	6	148	8	343	8	382
ストーリーテリングコース(経験者コース)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		6	138	7	176
合 計	6	148	14	481	15	558

#### ○おはなし会

幼児や小学生・保護者を対象に読み聞かせや紙芝居、わらべうたなどを実施した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
おはなし会	1	47	87	3,146	98	3,810
こぐまちゃんおはなし会	—	—	11	414	12	745
こどもの日特別おはなし会	—	—	1	79	1	131
一日おはなし会	—	—	1	123	1	143
クリスマス特別おはなし会	1	66	1	245	1	247
合 計	2	113	106	4,144	117	5,199

○布の絵本講習会

手づくり布の絵本作成の講習会を実施した。なお、令和2年度は「手づくり布の絵本の会」の活動休止のため中止した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		平成元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
布の絵本講習会	—	—	12	492	12	714

○小学生読書リーダー養成講座

小学5～6年生を対象に、読書の意義、図書館の本の探し方、絵本の読み聞かせ等の講習を行い、学校図書館活動の実践での活用を図ることを目的に養成講座を実施した。

令和2年度は「福岡 TSUNAGARU Cloud」を活用し、各小学校において実施した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	認定者数	回数	認定者数	回数	認定者数
小学生読書 リーダー養成講座	通年 (9～12月)	427	3	222	3	231

○夏休み図書館の達人講座

小学4～6年生を対象に、夏休みの自由研究等にも役立つ図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶことで、図書館の利用に関する基本的知識の習得を図ることを目的に講座を実施している。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
夏休み図書館 の達人講座	—	—	2	33	2	22

○福岡市ブックスタート事業

乳幼児の4か月児健診の機会に赤ちゃんに絵本を手渡すブックスタート事業で、絵本の読み聞かせの楽しみ方や赤ちゃんとの遊び方等を説明、実演するボランティアの研修会を実施している。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
「絵本ふれあい タイム」ボラン ティア研修会	—	—	1	107	1	71

○読書ノートの配布

読んだ本の感想や読みたい本等をメモする読書ノートを配布し、子どもの読書を支援した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ配布人数	回数	延べ配布人数	回数	延べ配布人数
読書ノートの配布	15	333	15	473	14	384

(2) 分館

○おはなし会 (分館合計)

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
どようおはなし会	27	271	405	5,715	484	7,288
赤ちゃんおはなし会	3	45	110	4,391	175	5,921
※その他のおはなし会	13	171	41	1,547	41	1,300
合 計	43	487	556	11,653	700	14,509

※「どようおはなし会」「赤ちゃんおはなし会」以外の分館のおはなし会は、様々な名称があるため、「その他のおはなし会」として集約している。

5 学校図書館支援センター

○学校図書館支援センター

各学校が、学校図書館を効果的に運用できるよう、平成26年9月に、総合図書館内に学校図書館支援センター準備室を設置した。

平成27年4月から本格稼働し、「情報」「ひと」「もの」の観点から支援を行った。

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談業務 (件)	175	200	136
要請訪問 (回)	10	32	36
計画訪問 (回)	74	69	14
登録校数 (校)	小学校 139 中学校 40	小学校 132 中学校 40	小学校 127 中学校 35
貸出冊数 (冊)	小学校 5,793 中学校 542	小学校 7,177 中学校 311	小学校 5,641 中学校 497

※平成27年4月～ホームページを開設し、情報を配信中

※平成28年9月～中学校へ学習支援用図書の出借を開始

## 文書資料部門

### ○文書資料の調査相談件数

文書資料部門では、利用案内件数は前年度と比較して 39.5%減少し、一日平均のレファレンス件数は、前年度と比較して 41.9%減少している。

(単位：件)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
レファレンス 利用案内	2,345	10	4,033	15	4,915	17
	1,368	6	2,261	8	2,953	10
合 計	3,713	16	6,294	23	7,868	27

### <主な普及活動>

#### ○歴史的公文書の展示

歴史的公文書に対する市民の理解と関心を深めてもらうための展示を行った。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ来場者数	回数	延べ来場者数	回数	延べ来場者数
歴史的公文書 の展示	1	702	1	4,876	1	715

#### ○古文書学講座

古文書を初めて読もうとする市民を対象に、古文書学の基礎を学ぶ講座を実施した。

(単位：回、人)

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
古文書学講座	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止		4	180	4	183

○文学館事業（講座）

福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動に関する講座を実施した。

（単位：回、人）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
常設展示関連講座	3	110	-	-	-	-
企画展関連講座	新型コロナウイルス感染症拡大のため企画展示を中止		3	80	1	24
文学講座	2	89	5	262	5	180
その他 (ギャラリートーク)	0	0	2	11	4	14
共催講座	0	0	1	43	1	50
合 計	5	199	11	396	11	268

**映像資料部門**

○入場者数

映像ホール・シネラの一回平均の入場者数は、新型コロナ感染拡大防止のため臨時休館等の影響により、前年度と比較して47.7%減少して、ミニシアターの一回平均の入場者数は、前年度と比較して60.0%減少している。

（単位：人）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一回平均	年度計	一回平均	年度計	一回平均
映像ホール・シネラ	8,500	34	24,374	65	28,368	67
ミニシアター	738	8	5,276	20	7,284	25
合 計	9,238		29,650		35,652	

○貸出数

ビデオ・CD等の一日平均の貸出数も臨時休館等の影響により、前年度と比較して15.1%減少している。

（単位：点）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	年度計	一日平均	年度計	一日平均	年度計	一日平均
ビデオ等貸出	4,988	20	6,463	24	7,974	27
CD等貸出	26,792	109	34,623	128	38,334	130
合 計	31,780	129	41,086	152	46,308	157

○映像ホール・シネラ上映実施状況

映像ホール・シネラの運営等については、図書館と映像ホール・シネラ実行委員会が共催して行っている。

- ・通常上映事業：図書館で収集しているアジア映画や日本映画の収蔵作品を上映する。  
毎週水曜日～日曜日（1日1回～2回上映）
- ・特別企画上映事業：他の映像関係団体等との共催による企画や、福岡で上映される機会の少ない映画を特集的に上映する。
- ・貸館上映事業：映像文化の振興・普及のため自主上映（非営利に限る）を行う希望者に、月末週の土曜日と日曜日のみ、映像ホール・シネラを有料貸出している。

（単位：回、人）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ入場者数	回数	延べ入場者数	回数	延べ入場者数
通常上映	190	5,729	169	9,611	186	10,775
特別企画上映 (イベント込)	67	2,375	201	14,045	218	17,037
貸館上映	5	396	10	718	17	556
合 計	262	8,500	380	24,374	421	28,368

○講演会実施状況

特別企画上映事業に関連する各種講演会を実施した。

（単位：回、人）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数	回数	延べ参加人数
講演会	1	49	6	806	2	93

○展示事業

区分	令和2年度
展示事業	「イラン映画特集」「インド映画特集」など映像ホール・シネラの上映に併せて映像ホール前に上映作品のポスターを展示。 令和2年6月～令和3年2月

○館外上映事業

区分	令和2年度
館外上映事業	会期：令和3年1月30日(土) 会場：高取公民館 上映作品：「ジャングル・スクール」(インドネシア映画) 観客数：25人

## II 事業概要

### 図書館全体

#### 1 分館整備事業

事業名	内 容	実 施
早良南図書館開設準備	令和3年11月開館の早良南地域交流センター内に設置した早良図書館について、関係部署及び関係事業者と図書館に関する設計等に関して協議を進め、図書資料を収集し、また、指定管理者を公募し、決定した。	関係部局（市民局等）と継続協議
南図書館整備事業（大規模改修）	南市民センター大規模改修工事のため、南図書館の休館対応や図書館に関する設計等に関して、関係部署及び関係事業者と協議を進めた。	関係部局（市民局等）と継続協議

#### 2 快適な空間づくり事業

事業名	内 容	実 施
やすらぎと交流の場づくり	平成28年4月に新たに設置された総合図書館エントランスホールの「語らいの場」において、季節に応じたイベントを実施した。	合計約17のイベントを実施

#### 3 効率的で効果的な図書館運営

事業名	内 容	実 施
指定管理者制度の導入	総合図書館（建物管理等）及び東図書館（選書を除く図書館サービス等）について、指定管理者制度を導入しモニタリングを3回行った。また、選定・評価委員会を開催して各指定管理業務の評価、令和3年度以降の指定管理者の選定を行った。	総合図書館 平成28年4月1日～ 令和3年3月31日 東図書館 平成28年6月4日～ 令和3年3月31日

#### 4 財源確保に係る事業

事業名	内 容	実 施
ふくおか応援寄付	図書資料及びアジア映画や福岡に関する映画の収集・保存・上映への活用を目的に、「ふくおか応援寄付制度」において寄付の募集を行った。	令和2年度実績 475,300円
駐車場有料開放	総合図書館駐車場を事業者に貸付け、閉館時間帯等に有料開放することで、財源確保に努めた。	令和2年度実績 2,949,194円



## 5 利用時間の拡大

事業名	内 容	実 施
開館時間、休館日の見直し	<p>平成28年度から総合図書館について開館時間の延長、東図書館について開館日・開館時間の拡大を行っている。また、令和3年11月に開館する早良南図書館については、東図書館と同様の開館時間及び休館日として、指定管理者の公募を行った。</p> <p>総合図書館：10：00～20：00（1時間延長）            東図書館：9：00～20：00（3時間延長）、休館日：最終月曜日            早良南図書館：9：00～20：00、休館日：最終月曜日（予定）</p>	<p>総合図書館            平成28年4月1日～            東図書館            平成28年6月4日～</p>

## 6 市民との共働事業

事業名	内 容	実 施
図書館ボランティアとの共働	<p>市民活動の場を提供するため、余暇（月2回、4時間以上）を活用して活動できる市民ボランティアを受け入れた。</p>	<p>46名            総活動時間            1,545時間</p>
インターンシップ生の受入	<p>九州インターンシップ推進協議会等からの受入れ協力依頼に対して、受け入れを行った（平成28年度から）。</p>	<p>1名受入</p>

## 7 研修・危機管理対策

事業名	内 容	実 施
基礎研修	<p>クレーム対応及び防災等に関する基礎研修を実施した。</p> <p>※コロナの影響により、転入職員研修、公務員倫理研修及び感染症予防・対策研修は中止。</p>	<p>令和2年度実績            2回実施</p>
専門研修	<p>図書館職員として専門知識や技術向上を目指す研修に職員を派遣した。</p>	<p>令和2年度実績            延23名派遣</p>
防災避難訓練	<p>一般財団法人日本防火・防災協会発行のDVD等による学習を実施した。</p> <p>※コロナの影響により、火災・地震を想定した避難誘導訓練及び救命器具等（AED・心肺蘇生法・水消火器）操作訓練は中止。</p>	<p>令和3年2月2日            参加職員119名</p>

## 8 見学・視察等受入事業

事業名	内 容	実 施
見学・視察受入	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため原則中止。他都市からの受け入れ要請に対し、受入を実施。	その他 1件 2名
バックヤードツアー	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	—
職 場 体 験	中学校からの受け入れ要請に対し、受け入れを行った。	1校 1人

## 9 情報発信事業

事業名	内 容	実 施
メールマガジン・SNSの活用	FacebookやTwitter、LINE等による情報発信、メールマガジンの配信（月1回）を行った。	Facebook等 平成28年5月30日～ メールマガジン 平成28年6月～
ホームページの改修	総合図書館ホームページをより見やすく、利用しやすくするため、緊急情報コンテンツ画面を追加したほか、レイアウトや操作性の改善に取り組んだ。	随時実施
展示インフォメーションの発行	総合図書館本館各階の、本の展示やイベント情報を毎月紹介した。	毎月1回

## 10 新ビジョンの推進

事業名	内 容	実 施
新ビジョンの進行管理と評価	福岡市総合図書館新ビジョンの推進に向けて、令和元年度の取組状況についての評価を行い、その内容を公表した。	令和2年8月20日 点検評価会議 を開催

## 図書資料部門

### 1 図書資料の収集、整理・保存

#### ○収集資料の充実

事業名	内 容	実 施
資料収集の充実	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、新たに「福岡市総合図書館図書資料部門収集方針」を策定した。分館においては、平成28年5月より、地域の実情に合わせて分館毎の収集方針を作成し、毎年度更新することとした。	平成27年 10月1日 から施行

#### ○図書資料の所蔵状況

区 分		令和2年度	令和元年度	平成30年度
図 書		2,022,541冊	1,997,353冊	1,978,558冊
逐次 刊行物	雑誌（寄贈を含む）	1,693種	1,788種	1,775種
	新聞（寄贈を含む）	192種	214種	207種
	法令集追録	6種	6種	6種
	国会議事録他	2種	2種	2種
マイクロフィルム		24,339巻	24,299巻	24,256巻
CD-ROM, DVD-ROM		—	—	—
オンラインデータベース		7種	7種	7種

※ 図書の冊数については年度末現在で、その他については翌年度4月1日現在での延べ数である。

### 2 レファレンスサービスの充実

事業名	内 容	実 施
電子メールによるレファレンスサービス	電子メールによるレファレンスサービスを開始した。	平成28年 8月から開始
情報提供の充実	① ビジネス支援として平成28年4月より、中小企業診断士による「起業・経営相談会」を開催した。 ② 医療情報の提供として「九州がんセンター講演会」をシリーズ化し実施した。 ③ SDGs（Sustainable Development Goals）（持続可能な開発目標）についての情報提供として関連書籍を展示した。	① 令和2年度 18回開催 ② 令和2年度 1回開催、 計17名参加

### 3 各種図書館間協力ネットワークの構築

事業名	内 容	実 施
国立国会図書館 総合目録ネット ワークへの参加	公共図書館における資料の共有化、書誌サービスの標準化と効率化を図るため、ネットワークに参加し、当館書誌データの提供や、国立国会図書館及び参加図書館の書誌データ検索を実施した。 (参加館1,152館、うち書誌データ提供館67館)	平成12年 3月から参加 平成14年 7月から当館書 誌データの 提供開始

### 4 読書普及活動

事業名	内 容	実 施
企画展示	各部門及び各分館において、テーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリスト配布などを行った。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一のテーマを定め、各部門及び各分館においてサブテーマを設定し、図書の展示等を行った。	毎月

### 5 モデル児童図書リストの配布

事業名	内 容	実 施
モデル児童図書 リストの配布	幼児から小学5・6年生向けの図書を掲載したモデル児童図書リストの配付や掲載図書の展示、貸出を行った。	総合図書館 及び分館

### 6 地域読書活動への支援

事業名	内 容	実 施
公民館等の 読書活動への支援	毎年、別々に開催していた総合図書館が主催する「地域文庫交流会」と、教育委員会生涯学習課が主催する「公民館文庫活動実践報告会・交流会」について、地域のニーズを把握し、実情に合った支援を行うため、団体貸出未利用の公民館等の現状や要望等の収集、団体貸出の新規利用に向けた情報提供を行うとともに、地域文庫ボランティア相互の情報交換・交流の機会として、平成28年度より合同で開催することとした。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止

## 7 電子図書館推進事業

事業名	内 容	実 施
電子図書館推進事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を見据えて、来館不要で24時間365日、利用者が所有する電子機器で電子書籍を検索・予約・貸出ができるサービスを令和3年3月3日に開始し、図書館サービスの拡充を図った。</p>	<p>令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツ数 7,549点</li> <li>・利用人数 2,881人</li> <li>・貸出点数 6,997点</li> </ul>

## 文書資料部門

### 1 文書資料の収集、整理・保存

#### ○公文書資料の収集状況

令和2年度の公文書資料収集は、完結後30年経過した永年保存文書364冊と、保存期間が満了した有期限保存文書のうち歴史的文化的価値があると認められる138冊を収集し、その他保存委託文書28冊を受け入れた。

(単位：冊)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公文書資料	530	394	525

#### ○行政資料の収集状況

令和2年度の行政資料収集は、主に本市行政各部署が発行する刊行物等を中心に、1,067冊を収集した。

(単位：冊)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
行政資料	1,067	934	1,104

#### ○古文書資料の収集状況

令和2年度の古文書資料収集は、遠藤栄雅資料等1,295点の寄贈を受け、明治期出版物資料等317点を購入した。

(単位：点)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
古文書資料	1,612	1,978	2,406

#### ○郷土資料の収集状況

令和2年度の郷土資料収集は、福岡市を中心とする県内の各分野にわたる図書等917冊を収集した。

(単位：冊)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
郷土資料	917	928	666

#### ○文学資料の収集状況

令和2年度の文学資料収集は、福岡ゆかりの作家等に関する資料として、299点を購入(受贈)した。

(単位：点)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
文学資料	299	95	82

○文書資料の所蔵状況

文書資料の総数は、年々増加傾向にある。

(単位：点)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公文書資料(冊)	27,476	28,452	29,124
行政資料(冊)	51,012	49,945	49,014
古文書資料(点)	81,886	80,274	78,296
郷土資料(冊)	103,979	103,062	102,138
文学資料(点)	24,251	23,952	23,857
合 計	288,604	285,685	282,429

2 公文書資料目録の作成

事業名	内 容	実 施
公文書資料目録 令和元年度版 (PDF)の作成	令和元年度までに収集・整理した公文書資料の簿冊及び件名目録(PDF)を作成し、ホームページに掲載した。	令和3年 3月作成

3 古文書資料目録の発行

事業名	内 容	実 施
古文書資料目録 26の発行	令和2年度までに収集した古文書資料の検索用目録を作成・発行した。	令和3年 3月発行

4 郷土資料展示

事業名	内 容	実 施
郷土資料展示	郷土に関する市民の理解と関心を深めてもらうため、レファレンスカウンター4前の展示スペースにて、様々なテーマで郷土福岡の歴史などを紹介し、読書案内のための展示を行った。	通年で実施

5 文学館事業(常設展示)

事業名	内 容	実 施
常設展示	「あなたの身近に文学が—福岡文学散歩」 福岡ゆかりの作家や作品、記念碑を取り上げ、様々な文学活動を紹介する展示を行った。 会場：福岡市総合図書館1階ギャラリー	通年で実施 (企画展示期間及び 展示準備期間を除く)

## 文学館事業（企画展示）

福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する展示を行った。

（単位：回、人）

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	来場者数	回数	来場者数	回数	来場者数
企画展	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		1	3,269	1	764

## 6 委員会等

事業名	内 容	実 施
福岡市総合図書館 文書資料収集審査 委員会	所管する文書資料収集の適正化を図るため、 6名の委員により1回開催した。	令和3年 3月25日開催 (書面により開 催)
福岡市文学館資料 委員会	福岡市文学館資料の充実と有効活用を図る ため、8名の委員により1回開催した。	令和3年3月24 日開催(書面に より開催)
福岡市文学振興 事業実行委員会	文学振興事業の企画と円滑な実施運営を 図るため、6名の委員により1回開催した。	令和2年8月12 日開催(書面に より開催)



## 映像資料部門

### 1 映像資料等の収集、整理・保存状況

#### ○映像フィルム収集状況

アジア映画を中心とした国内外の優れた映像資料を収集し、貴重な映像文化財として長期保存を行っており、令和2年度の映画フィルム収集は、寄贈18本であった。

(単位：本)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
映画フィルム	18	5	5

#### ○映画フィルム所蔵状況

(単位：本)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
映画フィルム	3,315	3,297	3,292

#### ○ビデオ等所蔵状況

(単位：点)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ビデオ/DVD	6,200	6,200	6,200
CD/カセット	14,400	14,200	14,020
合 計	20,600	20,400	20,220

### 2 委員会等

事業名	内 容	実 施
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ 実行委員会	福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの 上映等を開催し、その運営を円滑に行うため、 10名の委員により1回開催。	令和2年 6月5日開催 (持回で開催)

## 令和2年度 刊行物等一覧

### (1) 刊行物

名 称	所管課	発行月	サイズ	ページ	部数	Web 閲覧
図書館要覧（令和2年度版）	運営課	8月	A4	72	300	○
展示インフォメーション	運営課	毎月	A4	2	200	—
こどもとしょかんニュース	図書サービス課	年6回	A3	1	各1,600	○
モデル児童図書リスト (幼児, 小学1・2年生, 小学3・4年生, 小学5・6年生)	図書サービス課	4月	A4	2	3,900	○
レファレンスだより	図書サービス課	毎月	A4	4	各250	○
クンドルニュース	図書サービス課	奇数月	A4	1	各600	○
福岡市文学館機関誌 「文学館倶楽部 (No. 31)」	文学・映像課	3月	A4	12	4,000	—
令和2年度古文書資料目録26	文学・映像課	3月	A4	171	450	有償販売
福岡市総合図書館研究紀要 第21号	文学・映像課	3月	A4	68	450	—
シネラニュース	文学・映像課	毎月	A4	4	8,000	○
よかたい通信	運営課 (よかたい図書館 共同事業体)	季刊	A3	1	100	—
百道浜散策マップ	運営課 (よかたい図書館 共同事業体)	不定期	A3	1	200	—

### (2) インターネットホームページ

名 称	所管課	アドレス
福岡市総合図書館ホームページ	運営課	<a href="https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/">https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/</a>
福岡市電子図書館ホームページ	運営課	<a href="https://www.d-library.jp/fukuoka/">https://www.d-library.jp/fukuoka/</a>
福岡市総合図書館うえぶシネラ	文学・映像課	<a href="http://www.cinela.com/">http://www.cinela.com/</a>
福岡市文学館ホームページ	文学・映像課	<a href="https://fukuokabungakukan.com/">https://fukuokabungakukan.com/</a>

**令和 2 年度  
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**令和 3 年 1 0 月  
福岡市総合図書館**

## 福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
高橋 昇	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
豊澤 絵里奈	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
平田 エマ	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部次長兼 BIZCOLI 館長
宮本 直嗣	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成 果 指 標					
成 果 指 標	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】	85.9% (+1.7)	87.2% (+1.3)	88.9% (+1.7)	—	—
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※( )は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査を実施せず。令和2年度は実施予定。					

目 標 数 値					
目 標 数 値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	—	—	2,627,641人	1,640,847人 [ 986,794 ] [-37.6%]
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,274,103冊	4,167,046冊 [-107,057] [-2.5%]	4,108,973冊 [-58,073] [-1.4%]	3,958,372冊 [-150,601] [-3.7%]	3,251,539冊 [-706,833] [-17.9%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,233,797人	1,211,296人 [-22,501] [-1.8%]	1,214,402人 [+3,106] [+0.3%]	1,178,884人 [-35,518] [-2.9%]	949,860人 [-229,024] [-19.4%]
④新規登録者数 【令和5年度: 30千人】	33,846人	26,207人 [-7,639] [-22.6%]	24,712人 [-1,495] [-5.7%]	22,528人 [-2,184] [-8.8%]	16,558人 [-5,970] [-26.5%]
※入館者数については、平成30年度に装置の不具合が判明したため過去の数値も非表示。					
※[ ]は前年度からの増減。					
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度は総合図書館のみ令和2年2月27日から同年3月20日まで臨時休館を行い、また、令和2年度は総合図書館及び分館が、令和2年4月4日から同年5月25日まで臨時休館を行った。					
※南図書館は、南市民センターの大規模改修工事に伴い、令和3年1月5日から令和4年8月上旬(予定)まで長期休館を行っている。					

内 部 評 価	事業別評価	
<評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は、緊急事態宣言発出を受け臨時休館したこともあり、令和元年度に引き続き、令和2年度も満足度調査が実施できていない状況である。また、目標数値においても、臨時休館や新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で外出が自粛なされたこと等から、前年度実績から大幅にマイナスとなっている状況であるが、来館せずに利用できる福岡市電子図書館を令和3年3月に開館した。 事業別評価については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつも、図書館としてサービス等を提供できる範囲で提供していたが、前年度より評価がマイナスとなっている。 <対応> 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、福岡市総合図書館新ビジョンの推進及び目標達成に向けて、計画的に事業を実施するとともに、図書館サービスの向上を図るための取組みを推進していく。	A評価	13事業
	B評価	12事業
	C評価	—
	D評価	—

外部評価

・新ビジョンを策定する前からの10年間の推移を見ると、大きく変化したのは貸出冊数と資料収集経費の減少である。このような状況下で分館を含めた福岡市総合図書館の運営は、職員、嘱託司書一丸となり、市民と力を合わせて頑張っていると言える。

しかし、下記の数字が示しているのは、組織と個人の力を十分に発揮できなくさせている現実である。このような予算の状況が続けば図書館の運営は衰退の一途を辿るしかない。

下記項目ごとに平成21年(2009)年と令和2年(2020)年を比較してみる。

貸出冊数 5,005,858冊(H21年度)→3,251,539冊(令和2年度) 64.9%

収集冊数 61,762冊(H21年度)→ 61,843冊(令和2年度) ほぼ同数

収集経費 205,803千円(H21年度)→112,412千円(令和2年度) 54.6%

(福岡市予算額 6,922億円→8,874億円 128%)

収集冊数が同じということは、調査に必要な参考図書の収集が減少しており、図書館の調査能力の低下を意味している。

・利用者の満足度調査の実施を望む。利用者のニーズを知ることは最も大切と考える。利用していない市民の声、ニーズを調査することにより、利用者増の道がひらかれるのではとも考えている。

限られた予算の中、魅力ある図書館にと工夫し苦心しながら事業に取り組まれていることを評価する。その一方、ウイルスの感染拡大により中止となるイベントがやはり多かったと感じている。リアル開催が必須のイベントは場所を変えるなどの対応で開催できないか検証しておくなどの対応やリモート開催できるものは企画の段階から、そのことを視野に入れておくなどの対応を求める。そのためには換気設備の更新や、リモート環境の整備と操作する人材の育成が必要と考える。

・快適な空間づくりから、利用者のサービス向上、専門性の高い公文書の普及啓発や、若い世代への働きかけなど、幅広い事業を行っていることを知った。

新型コロナウイルス感染症対策のため、やむを得ず中止や延期されたところもあるかと思うが、今後も引き続きサービスの充実を図り、誰もが利用しやすい図書館を運営していただきたい。

・コロナ禍の状況下で市民に対し文化的な図書サービスの提供はご苦労されたと思う。その様な中でも柔軟に対応されていると感じた。足踏み状態な事業もあると思うが、事業計画を来期につなげて、市民の皆様喜んでもらえる図書サービスを継続するようお願いしたい。

市民への情報サービスやイベント企画等、今後も図書サービスを中心に置きながらも、多様性やSDGsを念頭に拡げていっていただければと思う。

・コロナ禍で様々な対応を迫られる1年だったと思うが、その中でも計画変更しながら事前に取り組んでおり、全体として評価できる。

一方で評価を回数、件数のみで評価し「少ない」「多い」で測るところも気になる。計画変更の際に評価の項目や内容についても少し言及しても良いのではないかと思う。計画を守ることが全てではなく、よりよい図書館運営に必要な事業であれば、柔軟に変更できるような体制も検討していただきたい。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	7	A評価	9	A評価	16	A評価	18	A評価	12
B評価	13	B評価	15	B評価	9	B評価	7	B評価	13
C評価	5	C評価	1	C評価	0	C評価	0	C評価	0
D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0	D評価	0

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

## ○新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の見直し	休館日、開館時間の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	快適な空間づくり
6	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
7			レファレンス(相談)サービスの充実
8			課題解決型支援の充実
9		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大
10			地域読書活動への支援
11		市関連施設の図書室 の相互協力	市施設の図書室との相互協力
12	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	モデル児童図書目録の配布
13			子どもの貸出カード作成推進
14			ヤングアダルト層(12歳~18歳)への働きかけの強化
15			読書活動ボランティア講座の強化
16	学校図書館への支援	学校図書館支援センターの充実	
17	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	図書館外施設での映像資料上映事業
18			資料展示事業
19		文書資料部門の充実	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実
20			文学館の利用拡大
21	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法の検討
22			図書館ボランティアとの共働きの推進
23			職員の育成及び技術向上
24			施設の有効活用などによる財源確保
25		情報発信の推進	情報発信の推進

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【早良南図書館】 開館準備		◇開館		
令和2年度					
計画	令和元年度に検討した結果、指定管理者制度による運営で決定したため、指定管理者の公募、選定等、運営管理に関する手続きを進める。また、開館までに必要な所蔵図書の収集を行い、開館準備を進める。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者公募により、指定管理者を決定するとともに、運営管理に関する手続きを進めた。</li> <li>早良南図書館の開館に向け、開館準備室を立ち上げるとともに図書資料収集を実施。</li> <li>早良南図書館運営に必要な図書館システムの構築等を行った。</li> </ul>				
令和3年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな拠点となる早良南図書館開館の円滑な運営に向けて、関連する事業者、関係部署等と調整を図る。</li> <li>開館後は指定管理による管理運営により、利用者満足度の高い図書館運営を目指す。</li> </ul>				
内部評価 (令和2年度)					
<p>新たな分館となる、早良南図書館の図書館づくりにおいては、関係部署と調整を図りながら書架配置等の計画を進めるとともに、所蔵図書の収集に努めた。また、指定管理者公募を行い、事業者が決定した。</p> <p>全体的に計画どおりに進んだためA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>開館後の分館を実際に見ないと本当の評価はできないが、過去の失敗を教訓としていると期待して、A評価とする。</li> <li>計画通りに進んでいると評価できる。</li> <li>全体的に計画どおりに進んだということなのでA評価。</li> <li>計画が順調に進んでいるので一層の進展を期待する。</li> <li>早良南図書館の開館に向けて計画どおりに進んでいるのでA評価とする。</li> </ul>					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0



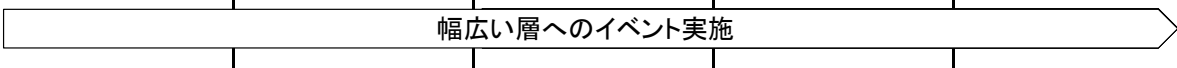
令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討、協議				
			◇設置		
令和2年度					
計画	市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
取組状況	<p>返却ポスト設置数が少ない東区内への返却拠点(ポスト)設置に向けて関係する民間施設管理者と具体的な協議を進め、令和2年8月より設置及び運用を開始した。</p> <p>設置場所は、香椎照葉地区「アイランドシティセンターマークスゲート」1Fセンターコリドー内(「サンカルナ香椎照葉」、「ラクレイス香椎照葉」及びテナントゾーンの共用通路内)</p>				
令和3年度					
計画	市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
内部評価 (令和2年度)					
令和2年8月より福岡市東区内において、返却ポスト設置及び運用を開始することができた。また、新しい貸出拠点となる早良南図書館の開館準備にも着手したことからA評価とする。					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・返却ポストは着実に増えているが、新ビジョン8年目になるが、貸出ポストがまるで進展してない。公民館の活用なども検討してもらいたい。</li> <li>・東区に新たに返却拠点(ポスト)が設置されたことは評価できるものの、まだ十分とは言えない。また、貸し出しもできる拠点が一向に増えず、今日に至っている。さらなる具体的な取り組みが必要であると考え。</li> <li>・新たに返却ポストを設置でき、利便性が増したためA評価。</li> <li>・計画に沿って返却ポストの運用開始ができていたとのことなので、今後も協議を進めより一層の充実を期待する。</li> <li>・現在着手中の返却ポスト設置については順調に進んでいるが、その他の要望あるエリアでの設置に向けた取り組みに期待したい。</li> </ul>					<p>A : 2</p> <p>B : 2</p> <p>C : 1</p> <p>D : 0</p>

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日、開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
令和2年度					
計画	引き続き、定期的な調査等のほか市政アンケートを実施し、市民ニーズの把握に努める。				
取組状況	<p>図書館が実施する利用者アンケートは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかったが、市政アンケートのなかで開館時間等に対する市民ニーズを把握した。市政アンケートの結果では「図書館がどのような図書館であれば、いま以上に利用したいと思いますか(21の選択肢を5つまで選択)」との問いに対し、「朝早くから開館している」が4.9%、「夜遅くまで開館している」が14.3%、「月曜日も開館している」が4.2%であった。</p> <p>また、令和3年11月に開館する早良南図書館については、東図書館と同様の開館時間及び休館日として、指定管理者の公募を行った。</p>				
令和3年度					
計画	これまでの検討結果及び市政アンケートの結果、東図書館、早良南図書館での実施状況、成果を検証し、継続的に検討を行う。				
内部評価 (令和2年度)					
利用者アンケートは実施できなかったが、市政アンケートでニーズ把握を行ったことや、早良南図書館は、東図書館と同様の休館日と開館時間で開館することとして休館日と開館時間の見直しを行ったことから、A評価とする。					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分館の設置されている位置や利用時間帯の分析ができておらず、今までの横並びでの開館時間帯では利用者のニーズに寄り添えていない。</li> <li>・新規に開館した、また開館予定の分館での取り組みは大いに評価できる。従来からある分館についても着手して欲しい。</li> <li>・市民のニーズの把握を行い、図書館分館ごとに開館時間が違いニーズに responding しているためA評価。</li> <li>・アンケート等地道なことだが、市民の声を今後もしっかり把握して欲しい。</li> <li>・利用者アンケートは実施が難しかったとのことだが、例えばHPにアクセスした人を対象にした「図書館についての」webアンケートを実施してもよいのではないかと(アンケートの実施が評価のメインではないのでA評価で)。</li> </ul>					A : 3 B : 1 C : 1 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。 また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
					
令和2年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながら、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを引き続き企画・実施する。				
取組状況	期間中に臨時休館となるなど、新型コロナウイルス感染症の感染状況が酷くなり、企画したイベントの多くを中止せざるを得なかった。しかしながら、「図書館マンス」の「図書館たからじま」をはじめ、おはなし会や課題解決型支援の起業・経営相談会、がん講演会など、感染症対策をしっかりと行いながら実施に努めた。また、高校生向けの国連講演会は、初めてオンラインで実施し、海外から高校生の参加があったり、中村哲氏の一周年忌記念事業には、多くの参加を得るなど、新たな展開もあった。さらに、ボードゲームやTRPGなどゲームイベントやアジアンパーティ関連イベントについては、各部門連携型の展示に変更して行うなど、展示に関してはこれまで以上に充実したものを実施できた。また、休館中においても図書館イベントに関する動画配信を行うなど、魅力発信に努めた。  読書行事等イベント 総合図書館・分館102回 1,726人 展示(総合図書館)135回				
令和3年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に十分に配慮しながら、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを引き続き企画・実施する。				
内部評価 (令和2年度)					
厳しい状況の中で、イベントを止めたり、縮小したりするのではなく、状況を踏まえながら、オンライン利用など新たな取り組みも行い、読書活動の促進や情報発信の強化に努めることができたためA評価とする。					A
外部評価 (令和2年度)					
・コロナウイルス感染症の状況下、工夫して活動した事は評価できる。 ・様々なイベントや展示がコロナ禍にあっても、オンライン利用など工夫され実施されたことは評価できる。しかし、子ども向けのおはなし会などのイベントは分館ではある程度行われているものの、本館ではほとんど実施されていない。人数を制限して回数を増やすなど工夫してのイベント開催が求められる。イベントに参加して、本・絵本の楽しさ良さを知る、または再認識する親子は多い。小学生もタブレットを持つ時代、デジタル化は見切り発車で進んでいる。デジタル力を育てることにかまけていると、子どもたちの読み書き力はますます低下して、深く読む喜びが失われ生きる力にも影響してくると危惧される。感染状況をにらみつつ対策や工夫をしての実施を期待している。 ・本館、分館共に様々なイベントを企画してあるのでA評価。 ・コロナ禍にあっても柔軟に対応されており良いと思う。今後も様々な対応を迫られると思うがより一層の工夫をお願いする。 ・オンラインなども活用しながら、情報発信したり展示も工夫するなどイベントも充実したようで評価する。ヤングアダルトについても、情報発信方法なども幅広く検討しながら、さらなる充実したイベントを期待する。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和2年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。また、新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直しの指示等を踏まえながら、更新工事時期の検討を行う。				
取組状況	令和2年度は、外壁工事、屋上防水工事(工期:~R3年度)、文書資料収蔵庫のパッケージ(部分)エアコン設備更新工事等を行った。また、施設設備の大規模更新工事の間に可能な館内レイアウトの検討のための、調査委託の準備を行った。				
令和3年度					
計画	引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。また、新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直しの指示等を踏まえながら、館内レイアウトや更新工事時期の検討を行う。				
内部評価 (令和2年度)					
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施したほか、休館を伴う施設補修等の時期検討に向け基本計画委託の準備を行ったが、2年度中にはレイアウトの検討にまでは到達しなかったため、B評価とする。</p>					B
外部評価 (令和2年度)					
<p>・令和2年度中にレイアウトの検討が終了すべきであったので、B評価とする。          ・コロナ禍が終わりを迎えたとしても、新たなウイルスの台頭も考えられる。コロナ禍での感染防止対策などの経験を生かし、換気システムの更新やレイアウトの見直しなどを早急に行い、その具体的な計画を示して欲しい。          ・度重なる緊急事態宣言でなかなか工事が進んでいないこともあったかと思う。          ・日々変化するコロナ対応が大変と思うが、市民が安心安全に利用できるようお願いしたい。          ・予算あつての設備更新計画なので、計画変更などは容易ではないことは承知しているが、新型コロナウイルスなどの対応について迅速な対応が必要である(もちろん、感染状況が落ち着けば大規模な対応は不要かもしれないがコロナに限らず様々な状況に臨機応変に対応する体制づくりも必要である)。</p>					<p>A : 0          B : 5          C : 0          D : 0</p>

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和2年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていくとともに、市民ニーズにも対応していく。</li> <li>電子書籍については、他都市の事例を調査するなど、導入について検討していく。</li> </ul>				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行った。</li> <li>市民ニーズに応えるようリクエスト本、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施。</li> <li>電子図書館を開館した。電子書籍の収集については、本館・分館読書相談員全員で選書し、利用者ニーズの高いコンテンツの収集に努めている。</li> </ul>				
令和3年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていくとともに、市民ニーズにも対応していく。</li> </ul>				

## 内部評価 (令和2年度)

限られた予算の中で、総合図書館及び分館の資料収集に努め、市民ニーズのあるリクエスト本、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。 また、電子書籍については、利用者ニーズの高いコンテンツを提供できたことからA評価とする。	A
--	---

## 外部評価 (令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>新ビジョン初年度資料収集経費が170,743千円であった。平成から令和となり、経費が112,412千円と65%ほどに削減されている。このような状況で十分な資料収集ができない。収集冊数は5万冊弱から6万冊強と増えているが、専門書、統計書、年鑑書等の調査に欠かせない資料が減り、一般書が増えている事によるものと考えられる。</li> <li>予算の確保に努めて欲しい。市民のニーズに応じて購入していることは評価できる。本が古いと、手に取らなくなる。館ごとに調査し、資料をさらに充実して欲しい。</li> <li>電子書籍のニーズに応じているのでA評価。</li> <li>市民のニーズに対応した資料の提供、電子書籍の提供両者とも重要なので、今後も継続お願いしたい。</li> <li>リクエストへの対応は十分されているとのことでA評価とする。</li> </ul>	A : 3 B : 1 C : 1 D : 0
---	----------------------------------

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
	令和2年度				
計画	窓口、電話、文書、電子メール等によるレファレンスを実施するとともに、ホームページの活用を進める。				
取組状況	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和2年度の主題別部門のレファレンス件数は22,795件(令和元年度36,294件)、文書資料部門のレファレンス件数は2,345件数(令和元年度4,033件)となった。令和元年度は、国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、当館のHP上で、レファレンス事例を参照できるようにしたが、令和2年度は、HPの検索にある「テーマ資料」を活用して、調べもののためのパスファインダーとして活用できるように検討し、「SDGs」や「がん情報」など具体的なテーマを定めて、入力作業を開始した。				
令和3年度					
計画	レファレンスにおける電子メールの利用促進をより一層図るとともに、さらにHPの活用を進める。				

## 内部評価(令和2年度)

メールレファレンスの利用だけでなく、ホームページを活用した調べものについての機能の充実が進んでおり、A評価とする。	A
---	---

## 外部評価(令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールによるレファレンスが全体の22,795件のうち71件、0.3%と1%にも満たない。これは広報活動に問題があるのか原因を調査する必要がある。SNSも多様になっており、それらを使う可能性も検討すべきと考える。</li> <li>・様々なレファレンスを実施し、機能の充実に取り組んでいることは評価できる。しかし、令和元年度はレファレンス件数は微減に留まっていたが、令和2年度は前年度より30%以上の減となっているためB評価とした。あらゆる機会を捉えてのPRや、さらに使いやすくする取り組みが必要と考える。</li> <li>・利用者の利便性が向上したと思われるのでA評価。</li> <li>・ホームページが充実して利便性が高まりよかったと思う。</li> <li>・機能充実に加えて、テーマを選定しての入力作業を開始するなど評価できる。</li> </ul>	A : 3 B : 1 C : 1 D : 0
--	----------------------------------

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実			
内容	課題解決型支援の充実					
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供					
令和2年度						
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に配慮しながら、課題解決型の行事を実施する。					
取組状況	<p>○ビジネス支援として、中小企業診断士による起業・経営相談会を開催した。</p> <p>年間開催数 総合図書館 18回 相談 11件 (毎月第2・第4日曜日)                  東図書館 14回 相談 9件 (毎月第1・第3日曜日)</p> <p>○医療支援として、総合図書館、分館で九州がんセンター及び済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会を開催した。</p> <p>①総合図書館:R2.12.15(土):口腔ケアとがん治療 17人参加(九州がんセンター)                  総合図書館2階にがん情報コーナーの設置しており、常時、情報提供。                  ②東図書館:R2.9.16(水):「知ることからはじめよう乳がんのこと」27人参加(済生会病院)</p> <p>○行政支援として、「SDGs」や「選挙と政治」をテーマとして、関係部局と連携して展示を行い、関係の本の紹介やパンフレットの配布などにより、情報提供を行った。</p>					
	令和3年度					
計画	新型コロナウイルス感染症の状況や対策に配慮しながら、医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、関係部局や関係機関等と協力して、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。					
内部評価 (令和2年度)						
新型コロナウイルス感染症の影響で一部を中止することとなり、起業・経営相談、がんの講演会、関係部局との連携展示など可能な範囲での実施となったため、B評価とする。					B	
外部評価 (令和2年度)						
<p>・コロナウイルス感染症状況での開催としては、努力したと評価したい。</p> <p>・コロナ禍ではリアル開催ができないことが予想される。そのためあらゆる場面でのリモートの利用が促進されている。著作権の問題など難しい場合もあるが、リモートを併用するまたはリモートで開催することに切り替えられるよう、準備段階から考えておく必要があると考える。工夫しての取り組みを望む。</p> <p>・講演会、相談会に参加希望の方のために、Zoom等使いオンラインでの開催の検討はいかがか？</p> <p>・市民のための情報ターミナル的な役割はとても重要なので、今後も様々な形で広げていただきたい。</p> <p>・可能な範囲で実施したことについては、評価したい(外的要因により回数だけで評価したくないので)。</p>					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0	

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体貸出先の拡大				
令和2年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				
取組状況	読書活動ボランティア講座等の催事機会に団体貸出制度の案内を行うなどの取り組みを行い、団体貸出の登録団体は令和2年度末時点で419団体となり、令和元年度に比較して4団体増加した。				
令和3年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				

内部評価 (令和2年度)	
令和5年度目標420団体の登録に向け、令和元年度に比較して4団体増加の419団体を登録することができたためA評価とする。	A

外部評価 (令和2年度)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この活動は評価できる。さらなる活動の進展を図るには、図書資料費の増額が欠かせない。内容「6」との関連でBとする。</li> <li>・登録団体は増加傾向にあり取り組みを評価できる。</li> <li>・緊急事態宣言が又今後発出され図書館が閉鎖中であっても、団体貸出先で本が借りれるとありがたい。</li> <li>・目標がほぼ達成に近づき、大変喜ばしいと思う。</li> <li>・団体貸出サービスの充実ということで、登録団体数だけでなく、貸出件数なども情報としていただければ、実態をより把握できる。</li> </ul>	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0



令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和2年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
取組状況	公民館への読書活動支援について、生涯学習課と連携して地域文庫交流会を生涯学習課主催の「公民館文庫活動実践報告・交流会」と併せて共同開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により開催することができなかった。団体貸出における公民館の登録数は62団体であり、令和元年度と比較し登録数に変更はなかった。公民館の管理運営を支援する部署が進めている公民館ミニ図書館事業について連携し充実を図るため、総合図書館の団体貸出用蔵書の活用検討及び令和3年度実施に向けた調整を行った。				
令和3年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
内部評価 (令和2年度)					
団体貸出の選本来館及び配送時など地域団体との接触機会に得た要望や相談内容を図書購入や活動助言などの支援に生かしたが、地域文庫交流会を開催することができず成果が不十分な面もあるためB評価とする。					B
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来企画していた活動が充分に行えず残念である。</li> <li>・公民館ミニ図書館事業などの活動支援を行っていることは評価できる。中止された交流会・実践報告会はリモートでの開催が求められる。</li> <li>・コロナ禍で訪問等推進活動が難しかったのではないかとと思われるためB評価。</li> <li>・コロナの影響を受けとても残念だが、今後の事業の推進を望む。</li> <li>・支援はできる限りのことを行われていると評価する。地域文庫交流会はリアル前提での開催かもしれないが、様々な形で(もちろん予算や人員の対応しうる範囲内で)方法を検討して頂きたい。</li> </ul>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和2年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を継続していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を実施。</li> <li>・ふくふくプラザで図書資料の返却実施(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)。</li> <li>・福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を実施。</li> </ul>				
令和3年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を継続していく。				

内部評価 (令和2年度)	
引き続き、議会図書室、科学館、ふくふくプラザとの相互協力をを行い、市関連施設との連携は継続できたためB評価とする。	B

外部評価 (令和2年度)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会図書室との連携をうたっているが、「図書館要覧」の23頁にある「他施設図書室とのネットワーク」に数値データも含めて盛り込まれていない。</li> <li>・進展が見られない。特に議会図書館との相互協力の様子がわかるデータがなく判断しづらいと思う。</li> <li>・十分取り組まれていると感じた。</li> <li>・今後も市関連施設との相互協力連携を充実させて市民の利便性に対応して欲しい。</li> <li>・相互協力について、何でも実施すればいいものでもないもので、相互にとって効果的な内容、方法について引き続き協議してもらいたい。</li> </ul>	A : 2 B : 2 C : 1 D : 0

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書リストの配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作成・配布				
令和2年度					
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。				
取組状況	モデル児童図書リストの配付(約3,900部)し、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。また、従来のモデル児童図書目録掲載図書及びリスト掲載図書の展示、貸出を行った。				
令和3年度					
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園、小学校、公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。				

内部評価 (令和2年度)	
モデル児童図書リストの配付、モデル児童図書の展示、紹介等を計画通り行い、掲載図書の貸出を促進することができたためA評価とする。なお、令和2年度掲載図書の調査では、年間1冊当たりの貸出回数平均は、幼児用91回、小学1・2年生用90回、小学3・4年生用38回、小学5・6年生用41回であった。	A

外部評価 (令和2年度)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページからも参照できるので良いと思う。</li> <li>・総合図書館HP、こども図書館でモデル児童図書リストを見たりダウンロードでき、利用しやすくなっている。モデル児童図書リストの作成・配布は評価できる。引き続き取り組んで欲しい。</li> <li>・実際に子どもが本を選ぶときに参考にさせていただいている。</li> <li>・子ども達の図書教育にとって、とても良い事業と思う。今後とも充実を図っていただきたい。</li> <li>・リストの作成、配布、図書の展示等について、計画通り実施されたことについて評価する。ただ、リスト(特に学童が自分で読めるようになる3、4年生より上の学年)は、タイトルは並んでいるが、内容が目に飛び込んでこないのが、フォントの大きさや強弱など、工夫いただけると学童へのアピール度も増すのではないかと。</li> </ul>	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	子どもの貸出カード作成推進			
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	検討, 協議	実施		
令和2年度				
計画	開催可能な図書館催事や講座、団体貸出し等の機会を捉え、図書館の貸出しカードの作成を促す声かけに努める。			
取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により小学生の図書館見学や小学生読書リーダー養成講座など図書館を会場とした催事が中止となり、貸出カード作成の案内機会を確保できなかったが、新たな取組みとして、各小学校へ配信される「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した小学生読書リーダー養成講座の代替実施を進め、講座参加者(37校427名)へ貸出カードの作成案内を行った。また、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問時に、図書館の利用案内とともに貸出カードの作成案内を行った。			
令和3年度				
計画	開催可能な図書館催事や講座、団体貸出し、学校訪問等の機会を捉え、図書館の貸出しカードの作成を促す声かけに努める。小学生読書リーダー養成講座は、令和3年度においても「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した実施を各小学校に依頼し、貸出カードの作成案内も行う。			
内部評価 (令和2年度)				
小学生読書リーダー養成講座の小学校での代替実施などの機会を捉えて、貸出カードの作成案内に努めたため、B評価とする。				B
外部評価 (令和2年度)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合図書館ではなく、分館に小学一年生を案内するプログラムを小学校と協力して行い、その場で貸出カードの作成を行うことが考えられていない。</li> <li>・小学生読書リーダー養成講座参加者への貸出カード作成案内はある程度評価できるが、それが各小学校でひろがっているのだろうか？やはり少しでも行きやすい近くの分館と協力しての取り組みが必要ではないかと考える。</li> <li>・今後も貸出カードの作成を推進していただければと思う。具体的に1年で何枚位のカード作成を目標とされているのだろうか。</li> <li>・様々なイベントを中止することとなったので、コロナ禍のあおりを受けた事業の一つと思う。今後期待したいと思う。</li> <li>・配信プログラムでの作成案内実施など評価されるが、読書の普及促進に向けて、様々なツールを活用してもらいたい。</li> </ul>				A : 0 B : 4 C : 1 D : 0

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和2年度				
計画	引き続きヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。 また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を継続する。			
取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大のため、集まつのイベントは実施できなかったが、電子図書館を開館して、ヤングアダルト向けの特集を設け、電子書籍を提供した。また、「International Games Week2020」に参加して、各部門が連携して、ゲームに関する展示を行い、関係する様々な本を紹介した。さらに、高校生向けの国連講演会をオンラインで実施した。 市立高等学校を対象にした総合図書館の一般書架図書資料の調べ学習用貸出については、特にリクエストはなく、実績がなかった。			
令和3年度				
計画	新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、電子図書館も活用してヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。			

## 内部評価 (令和2年度)

<p>新型コロナウイルス感染症拡大の厳しい状況の中で、電子図書館開館によるヤングアダルト向けのコンテンツの提供や国連に関連するオンライン講演会やワークショップなど、新しい方法で読書活動の促進や情報提供を開始し、今後の拡大が期待できるものとなった。しかし、高等学校への貸出については、実績がなかったことからB評価とする。</p>	B
---	---

## 外部評価 (令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生、高校生の各学校での図書委員に協力を依頼し彼等自身の企画・立案のプログラムを彼等自身に運営してもらうことを考えるべきではないか。</li> <li>・16歳以上の子どもたちへの取り組みはある程度評価できるが、12～15歳、中学生への取り組みがほとんどなされていない。中学生が手に取りやすい本、逆に読みごたえのある本の紹介が直接子どもたちに届くような取り組みが求められる。</li> <li>・中高生のニーズを把握し、興味のあるジャンルの電子書籍を増やしてみてもどうだろうか。</li> <li>・オンラインコンテンツを使用した活動はとても良いと思う。特に若い世代にはなじみやすいと思うので、様々なケースで取り入れてもらえればと思う。</li> <li>・高校を対象とした貸出についての実績がなかったことについて、先方の事情も把握した上で、現状の貸出事業のやり方を変更するなどの対応も検討頂きたい。</li> </ul>	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	読み聞かせ講座の実施			
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施			
令和2年度				
計画	令和2年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更し、9月～10月に絵本の読み聞かせコースのみを実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			
取組状況	令和2年9月～10月に絵本の読み聞かせコース(4日間、定員100名)を実施し、併せて延べ116名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。			
令和3年度				
計画	令和3年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により計画を変更し、9月～10月に絵本の読み聞かせコースのみを実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			

## 内部評価 (令和2年度)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により計画を変更し実施したが、講座本来の半分程度であり不十分となったためB評価とする。	B
--	---

## 外部評価 (令和2年度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症が終息してから活動を再開してもらいたい。絵本だけではなく、高齢者施設での読み聞かせボランティアの養成も求められる。</li> <li>・計画どおりの実施ができなかったことは残念だが、読書活動ボランティア講座は内容も充実しており高評価である。引き続き取り組んで欲しい。版權の問題があり絵本の読み聞かせ講座のリモート開催は難しいため、リアル開催が実現できる取り組みを望む。</li> <li>・緊急事態宣言発出もあり、予定どおり実施できないこともあったと思うが、状況を見ながら活動されていたと思われる。</li> <li>・この事業もコロナの影響を受け大変だったと思う。3年度に期待したい。</li> <li>・コロナのために計画変更しての実施について評価する。</li> </ul>	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館への運営等に関する指導、助言</li> <li>・学校図書館の図書への選書や助言</li> <li>・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援</li> </ul>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和2年度					
計画	<p>学校の新型コロナウイルス感染症の感染防止策の状況も踏まえ、より学校現場の意向、要望に沿った支援に努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、図書館での実施は困難であるが、講座の目的を損なわない範囲での実施を検討する。中学校用の学習支援用図書について学習指導要領の改定に沿った蔵書整備を進める。</p> <p>読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料を整備し、貸出を行う。</p>				
取組状況	<p>令和2年度は84回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、62校から141回の利用があり、5,793冊の貸出を行った。中学生用の学習支援用図書貸出については、7校から12回の利用があり、542冊の貸出を行った。</p> <p>また、市内小学校5・6年生を対象に、受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」については、各小学校へ配信される「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した代替実施を進め、9月から12月の期間に37校で実施があり、受講者427名全員を認定した。</p> <p>特別支援学校高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し、配付した。</p> <p>マルチメディアDAISYは点字絵本やLLブック等も含めタッチルックセットとして整備し、小学校2校に貸出を行った。</p>				
令和3年度					
計画	<p>学校の新型コロナウイルス感染防止策の状況も踏まえ、より学校現場の意向、要望に沿った支援に努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、図書館での実施は困難であるため、昨年度と同様に「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した講座を各小学校で実施する。</p> <p>読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料の貸出を行う。</p>				
内部評価 (令和2年度)					
<p>中学校向けの支援については、更なる周知が必要であるが、貸出が僅に伸びるなど、概ね計画通りに進捗した。小学校向け支援については、貸出登録校数が増加するなど安定的に貸出を行っており、相談対応や訪問など年度を通して実施した。全般的に事業の認知と活用が進んでいるためA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館への貸出の伸びを支える為にも、内容「6」図書購入費の増額が必要である。</li> <li>・A評価としたが、中学校向けの支援の取り組みの強化を望む。</li> <li>・引き続き学校図書館への支援をお願いしたい。</li> <li>・計画された内容がしっかり進んでいると思う。</li> <li>・取り組みについては、コロナ禍においても訪問を実施するなど評価する。計画の目標設定にもよるが、実績をどのように評価すればいいのかわからない点もある(予算設定に対して対応可能な訪問、貸出件数なのか、1校あたり〇冊や学童1人あたり〇冊といったものなのか)。</li> </ul>					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	手法検討	上映事業の実施			
令和2年度					
計画	市民局公民館支援課とも協議の上、効果的な公民館への告知方法等を検討。同時に新型コロナウイルス感染症対策を検討しながら、昨年度延期となった高取公民館での開催を含めて2か所の公民館上映を予定する。				
取組状況	1月30日(土)高取公民館でインドネシア映画「ジャングル・スクール」を上映。感染対策のため観客を30人限定とする。実際の観客は25人。その後公民館支援課と協議によるアドバイスに従い、市内全部の公民館に上映の希望調査を行う。年度末までに11館の上映申し込みがある。				
令和3年度					
計画	希望申し込みがあった11館の公民館と具体的な日時や上映作品等の協議を行い、新型コロナウイルス感染症対策を検討しながら、順次上映会を実施していく。				
内部評価 (令和2年度)					
<p>予定では2か所開催を考えていたが、公民館支援課との協議の中で、実際上映会を開催し、その実績を各公民館に紹介する手法が良いとのアドバイスがある。3月上旬全部の公民館に文書を配布。予想以上の反応があり、令和3年度の予約で11館を受け付ける。予想以上の反応で、事業としては成功と評価して良いことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の継続に努めてもらいたい。</li> <li>・公民館での上映は、少人数で集まって地域で映画を楽しめるイベントであり、コロナ禍でのイベントとして有効と考える。引き続き取り組んで欲しい。</li> <li>・上映事業が好評であるため。</li> <li>・素晴らしい取り組みと思う。このような機会が益々増えると良いと思う。</li> <li>・予想以上の反応について、それをどう事業として充実したものにするか、今後も期待する。</li> </ul>					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0



令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	<p>展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和2年度					
計画	<p>新型コロナウイルス感染症のため、映像ホールでの映画上映が6月17日から開催となった。年間の上映企画の再検討が必要であるため、映像ホール前での上映企画にかかわるポスター展示を継続しながら、新たに使用されるようになるショーケースの活用及び新たな展示エリアの検討を行う。</p>				
取組状況	<p>映像ホールでの観客数が6月17日で50席であることから、観客が沢山入る企画をしないように上映を開始する。それに併せて令和2年度は展示はホール前に1枚のポスターを展示するのみにとどめる。映像ホールの観客席は順次増やして、2月から120席となった。上映企画に連動する展示企画は次年度に計画する。新たな展示エリアの検討は着手、引き続き検討を行う。</p>				
令和3年度					
計画	<p>令和3年6月の「ベトナム映画の現在」合わせて大規模なポスター展示を行う計画。新型コロナウイルス感染症の感染状況を考えながら展示プランを検討していく。新しい展示エリアの検討については現在検討されている大規模改修に併せて行えるようにする。</p>				
内部評価 (令和2年度)					
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、観客を滞留させ、集客を上げることを目的とした展示は控えるようにした。映像ホールの毎月の上映の時に各1枚のポスター展示は行っており、現状としてはやむを得ないと考えており、可能な限りの対応は行ったが、当初計画どおりに実施できなかったことからB評価とする。</p>					B
外部評価 (令和2年度)					
<p>・ポスター展示の現在の方法では限界がある。著作権者と連絡をとり、図書館のホームページ上での公開を図るべきである。          ・観客が滞留しにくいような展示スペースのレイアウトを望む。          ・新型コロナウイルス感染症対策をしながらもポスターの展示を行って対応をしていたため。          ・こちらもコロナの影響を受けたので、計画実行は難しかったと思う。          ・計画どおりにやるのが全てではなく、いろいろ現場で工夫したということは理解できる。</p>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

### 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実	
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実			
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	デジタルデータ化・活用の推進			
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等			
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)			
	検討	システムの拡張・情報提供		
令和2年度				
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、デジタルデータ掲載によるホームページのコンテンツ充実を図る。</li> <li>○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。</li> </ul>			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページに総合図書館のコレクション紹介として、古文書資料1点を掲載した。</li> <li>○「生をまもる～感染症とのたたかい～」をテーマに歴史的公文書の展示を行い、展示概要のしおりをホームページで公開した。(入場者数計702人)</li> </ul>			
令和3年度				
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、デジタルデータ掲載によるホームページのコンテンツ充実を図る。</li> <li>○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。</li> <li>○引き続き歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議検討を行う。</li> </ul>			
内部評価 (令和2年度)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタルデータ化及びその提供のあり方については、今後も調査・検討が必要。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の影響下で感染症とのたたかいに関する歴史的公文書の展示により、当館の公文書機能についてアピールできた。</li> <li>○電子決裁文書の移管等については、関係部局との協議が進んでおらず、引き続き協議を行う必要がある。以上のことから、B評価とする。</li> </ul>				B
外部評価 (令和2年度)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子決裁文書の移管についての協議を進めてもらいたい。</li> <li>・予算の確保に努め、デジタルデータ化に取り組むことを望む。データ化した資料の展示は資料の活用となることは大きい。</li> <li>・ホームページに載せることにより、多くの方の目に留まり普及啓発につながっていると思われる。</li> <li>・デジタルデータの取り扱いや保存等、今後もしっかり協議をお願いしたい。</li> <li>・デジタルデータ化や提供については、その費用に対するの効果が見えにくく、調整にも時間がかかるので、ねばり強く活動頂きたい。</li> </ul>				A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館		項目	文書資料部門の充実	
内容	文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実				
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実				
	企画展の開催、広報強化				
	企画展開催・報道機関等による広報強化				
福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築					
構築					
情報提供					
令和2年度					
計画	<p>○文学館事業として以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展は令和2年度は開催せず、令和3年度に「夏樹静子の書齋」をテーマに開催する事とし、そのための図録作成等準備を実施。</li> <li>・また、常設展示は企画展を開催しない分、展示替えを実施して開設。</li> <li>・引き続き文学情報提供システムデータベースの拡充を図る。</li> <li>・「福岡ミュージアムウィーク」は令和2年度は中止だが、ももちはま草紙、読書講座等の文学講座など、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら文学館の認知度アップを図る。</li> </ul>				
取組状況	<p>○文学館事業として以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」の制作</li> <li>・ギャラリー常設展「あなたの身近に文学がー福岡文学散歩」、展示開設リーフレットを新規に作成、配布</li> <li>・ももちはま草紙(定例文学講座) 2回、常設展示関連文学講座 3回 延べ参加者数199人</li> </ul>				
令和3年度					
計画	<p>○文学館事業として以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図録刊行後に、そのコンテンツをもとに令和3年度中を目途に写真展・パネル展の実施を検討</li> <li>・常設展示「冴えの人ー歌人・長塚節(ながつか・たかし)」を会期中展示替えを実施して開設</li> <li>・ももちはま草紙、読書講座等の文学講座を感染予防を徹底して実施し、文学館の認知度アップを図る。</li> </ul>				
内部評価(令和2年度)					
<p>○新型コロナウイルス感染防止対策のため、会場の定員を制限したため、文学講座等参加者は昨年度より減少したが、応募者数は新型コロナウイルス感染症影響下にも関わらず昨年度より増加した。図録等販売数は昨年度より減少した。</p> <p>(R元:企画展3,269人、文学講座等439人、図録等販売273冊→R2:未開催、199人(新型コロナウイルス感染症対応による人数制限:応募者546人)、87冊)</p> <p>○企画展については、新型コロナウイルスの感染拡大のため令和2年度の開催を見送り、図録「ミステリー女王 夏樹静子と福岡」の制作を先行して実施した。図録版下データの作成に想定外の時間を要し、印刷・校正作業については令和3年度とすることとした。</p> <p>以上のことからB評価とする。</p>					B
外部評価(令和2年度)					
<p>・努力されていることは理解できる。コロナウイルス感染症終息後を見据えて、広報の手段を考える必要がある。</p> <p>・文学講座、企画展図録の制作など魅力的な企画がなされ、文学館の認知度のアップにつながっていると評価できる。</p> <p>・文学館事業も新型コロナウイルス感染症対策しながらできる限りの取り組みをされていたため、こちらの事業も福岡の文学に寄与する内容なので、今後益々事業が進むことを期待する。</p> <p>・文学館事業もコロナの影響を大きく受けたが、その中で講座を開催したことを評価する。希望者も多いということで、プログラムの充実が期待される。</p>					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合(建物管理のみ)、東(運営)				
	早良南(仮称)				
令和2年度					
計画	運営方法として決定した指定管理者による管理に向け、必要な手続きを進める。				
取組状況	総合図書館及び東図書館は選定・評価委員会を開催し、総合図書館(施設管理)及び東図書館の指定管理者による管理を継続することとしたほか、市の方針に基づき早良南図書館については指定管理者制度を導入することを決定した。				
令和3年度					
計画	指定管理者への定期的なモニタリングを実施し、適切な運営に反映するよう努める。				
内部評価 (令和2年度)					
<p>総合図書館と東図書館の指定管理期間(5年間)の最終年度であり、既存の指定管理の成果を検証したが、必要十分な運営であった。</p> <p>令和3年度からの運営方法については、指定管理者制度を継続して行うこととし、新設される早良南図書館においても同様の効果が期待できることから、総合図書館、東図書館、早良南図書館の3館の運営のための指定管理者を公募し、それぞれ選考、決定したこと等、計画どおり進められたことからA評価とする。</p>					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の活動をチェックし、成果を上げるようにしてもらいたい。</li> <li>・指定管理者制度は導入した市町村により評価は大きく分かれていることから、今後も慎重に進め定期的な調査見直しなどを行うことを望む。</li> <li>・利用者のニーズをアンケートで集め、運営方法を検討し、図書館の新設や返却ポストの設置など利便性の向上に努めている。</li> <li>・事業計画に沿って安定して進んでいるので安心である。</li> <li>・指定管理者の公募、選定、決定について円滑に行われたことについて評価する。成果の検証過程での改善点などをこれから5年間に活かしてもらいたい。</li> </ul>					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

## 令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和2年度					
計画	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新規ボランティアの受け入れは困難であり、現在登録しているボランティアを継続して受入れ、図書館ボランティアとの共働を図る。				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動時間がとられなかった中、ボランティアとして名簿登録者数46名、活動実績としては、時間ベースで総計1,678時間取り組んでいただいた。活動の中では本の修理が一番多く1,460時間(87%)を占める。				
令和3年度					
計画	継続の意思のあるボランティアを確認後、不足数を新規に公募する。令和3年4月1日作成名簿登録者数118名				
内部評価 (令和2年度)					
開館日数の減や三密を避けるという新型コロナウイルス感染症の影響の中、1,600時間以上という長時間にわたり取り組んでいただいております。図書館との共働が認められることからA評価とする。					A
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の修理が大半を占めている業務内容であるが、図書館との共働の領域を拡げる柔軟な発想が欲しい。他館の実践例を取り入れて欲しい。</li> <li>・業務を選べるボランティア募集は応募しやすく評価できる。</li> <li>・長時間ボランティアをして下さっている。</li> <li>・今後もボランティアさんたちが共働できる環境を整備していただければ、市民の自己実現に寄与できると思う。</li> <li>・ボランティアの皆さんとの連携が非常に重要であり、令和2年度も活動できたことを評価する。</li> </ul>					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和2年度					
計画	<p>今年度は職員が一同に集まったの全体研修を制限し、必要最小人数での福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、外部研修の実施は可能性が低く、派遣も見合わせる必要があるため、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を主に奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
取組状況	<p>全体研修については、職員の基本となる接遇・公務員倫理研修等の実施や、避難訓練等の防災研修など4回実施した。</p> <p>専門研修については、県立図書館の研修等へ職員を派遣(延23人)した。</p> <p>また、著作権や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修等を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得を奨励した。</p>				
令和3年度					
計画	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が拭えない現況であるため、職員が一同に集まったの全体研修はできるだけ制限し、必要最小人数での福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、会場集合形式のものは3年度も縮減され、インターネットを介してのオンラインによるものが主体になると考えられる。派遣研修及びインターネット接続が可能な範囲でオンライン研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
内部評価 (令和2年度)					
<p>参加可能な範囲での専門研修への派遣は行ったが、予定していた全体研修が十分にできていないためB評価とする。</p>					B
外部評価 (令和2年度)					
<p>・公立図書館でも専門主題領域の知識は必要なので、それを司書で分担してNDC1～9をもれなく習熟すべきである。このことに対する認識が欠けている。</p> <p>・図書館員としての高い専門性を持つための研修は不可欠だが、それと共にリモートで発信するための基本的な技術習得の研修も必要と考える。イベントや会議の企画時から感染拡大したときの対策がとれるよう体制を整えて欲しい。</p> <p>・できうる限りでの研修は行っていったようなのでB評価。</p> <p>・研修等コロナ禍の状況下でよくやられていると思う。今後も職員、関係者の方々の知識向上に努めていただけると嬉しい。</p> <p>・研修が十分にできなかったというものの、インターネットによる遠隔研修を取り入れるなど、状況変化への対応もなされており評価する。令和3年度以降も、オンラインなどをうまく活用して、職員の育成、技術向上を図っていただきたい。</p>					<p>A : 1</p> <p>B : 4</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源	その他財源の確保			
令和2年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について、検討を行う。				
取組状況	駐車場の運営については、外壁工事に伴う駐車台数減の影響もあり、当初予定より減額したが、目的外使用料の基本使用料として約295万円の歳入があった。また、喫茶厨房室や自販機等に係る目的外使用料についても、新型コロナウイルス感染症による休館の分を減額したが、約80万円の歳入があった。				
令和3年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について、検討を行う。				
内部評価 (令和2年度)					
減額は不可抗力の面が否めないが、その他の財源確保が図られているとは言い難いため、B評価とする。					B
外部評価 (令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も多方面からの寄付の募集に期待している。</li> <li>・財源確保はコロナ禍においてさらに難しい課題となっているが、昨年度からの進展が見られない。</li> <li>・財源確保については要検討だが歳入があったため。</li> <li>・様々な不利な状況が重なるなか健闘されていると思う。</li> <li>・財源確保については、様々な方策があるので、検討を続けてもらいたい。</li> </ul>					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

令和2年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
	令和2年度				
計画	引き続き、ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
取組状況	<p>図書館の開館情報やイベント情報等をホームページやSNSを通して発信した。また、市報道部門を通し、又は直接資料提供等を行い、情報発信に努めた(市報道部門を通した新聞・報道機関への資料提供数10件(これに対し報道又は掲載件数70件))。このほか、図書にちなんだお菓子作りの動画を製作・配信したほか、新規事業である電子図書館の広報に努めた。また、施設の魅力ある箇所のツイッター発信など新たな取り組みも行った。</p> <p>媒体ごとの登録者増加率(前年度比)は、フェイスブック約16%増(258件→298件)、ツイッター約57%増(828件→1,298件)、メルマガ約8%増(476件→512件)、LINE約9%増(3,263件→3,563件)となっている。</p> <p>また、TVCMや地元ファッション広報誌等への撮影場所提供の機会を得て、施設名周知にも取り組んだ。</p>				
令和3年度					
計画	引き続き、ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
内部評価(令和2年度)					
緊急事態宣言を受けイベント等が実施できなかったことから、報道機関等への資料提供の機会は減少したが、新たな形での情報発信を行い、少しずつSNSでの登録者も増えてきていることから、A評価とする。					A
外部評価(令和2年度)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前とは見違えるほどの情報発信力である。これをプレスリリースからSNSへ拡大してもらいたい。</li> <li>・様々な取り組みにチャレンジしていることを評価するが、利用者減の傾向は昨年同様変化が見られない。</li> <li>・色々な媒体で情報発信しているため。</li> <li>・FB、ツイッター等、とても良い取り扱いと思う。この調子で情報発信を続けていけば、市民の図書に対する意識も高まると思う。</li> <li>・媒体ごとの登録増加数の伸びが異なり、用途が異なる可能性もあるので分析が必要と思われる。情報発信そのものについては、評価される。</li> </ul>					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0



# ともてらす早良 情報誌

開館準備号

福岡市早良南地域交流センター ともてらす早良

2021年 11月6日(土) オープン!

— 地域とともに —

音響効果の高い最大300人収容の多目的ホールでは、オペラや落語、器楽コンサート、さらに演劇などの公演・イベントを開催します。天神に行かなくても、ここ早良で芸術に触れられます。早良南図書館やチャイルドルームでは、学びの場とともに地域のコミュニティ機能の活性化を図ります。

屋外スペースでは、緑あふれるスペースを活用してマルシェ等のイベントを開催します。

11月6日から、豊かな歴史と伝統の地「早良」の一層の発展に向けて、着実な第一歩を地域とともに進めてまいりたいと思います。みなさまの絶大なるご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。



## 施設のご案内

### 館内施設

多目的ホール／大・小会議室  
大・小練習室／チャイルドルーム／和室  
飲食スペース／学習スペース／早良南図書館

TEL:092-812-3312

<https://sawaraminami-koryu.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/tomoterusasawara>

**P** 駐車場 241台

施設利用者は300円(当日最大)  
※別途、減免あり

駐輪場 80台

(自転車70台、バイク10台)

HP



Facebook



### 開館時間／休館日

施設開館までの間  
(～11/6(土))

10:00～17:00(受付窓口のみ)

〈休館日〉  
土・日・祝日

施設開館後

9:00～21:00(多目的ホールは22:00まで)

〈休館日〉毎月最終月曜日(休日のときは翌日)及び  
年末年始(12/28～1/3)

駐車場

8:30～22:00

多目的ホールを22:00まで利用の場合は22:15まで  
(休館日は8:45から17:45まで)

早良南図書館

9:00～20:00

〈休館日〉毎月最終月曜日(休日のときは翌日)及び  
年末年始(12/28～1/3)、図書特別整理期間(不定)

11/6(土)  
のみ  
11:00  
オープン

11/6(土)・7(日) オープニングイベント開催!



# 福岡市早良南地域交流センターともてらす早良 2021年11月6日(土) オープン!

## オープニングイベントプログラム

### 小練習室

#### 11/6・7 ドラム演奏体験

- 6日 13:30 ▶ 16:00
- 7日 9:00 ▶ 12:00 / 13:00 ▶ 16:00

※時間は変更になる場合があります

ドラムセットの演奏ができます。ドラマーが扱い方をやさしく手ほどきします。予約不要。

### 展示スペース

#### 11/6・7 「早良区の宝」

早良区が誇る歴史や文化を紹介します。

##### 資料展示 林 遠里と勸農社

福岡が生んだ農学者、「明治の3老農」の一人、林 遠里(1831-1906)氏が設立された「勸農社」資料を展示します。食料の増産と米の自給率向上を目指した明治政府の近代的農業の普及に輝かしい功績を残されました。

##### 作品展示 高取焼本家 味楽窯

江戸時代から伝わる陶土と九州産の天然釉薬を使って作られる作品を紹介します。ともてらす早良の施設入り口周りに設置しているサイン(看板)に使用している陶板は、十五代亀井味楽氏の作品です。

### 大練習室

#### 11/6・7 市民参加型演劇

##### 「早良探訪記」

構成・演出:石田聖也(演劇ユニット そめぐろ)

- 6日 14:00 ▶ 15:00
- 7日 11:00 ▶ 12:00 / 15:00 ▶ 16:00

早良のマチと歴史、人々と出会う市民参加型演劇。地域の方々と演劇ユニットそめぐろが、言葉や音、体と記憶を使い、新たな演劇体験をつくります。



※新型コロナウイルス感染防止については、適切な感染防止対策を実施します。

11/6(土) 11:00 ▶ 17:00

11/7(日) 9:00 ▶ 17:30

入場  
無料

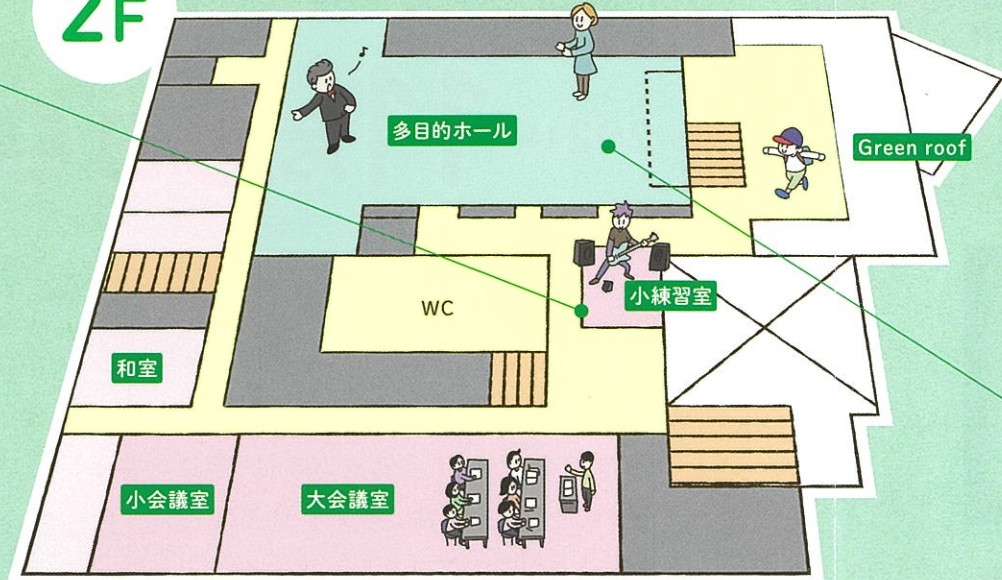
住所:福岡市早良区四箇田団地9番1号

TEL: 092-812-3312

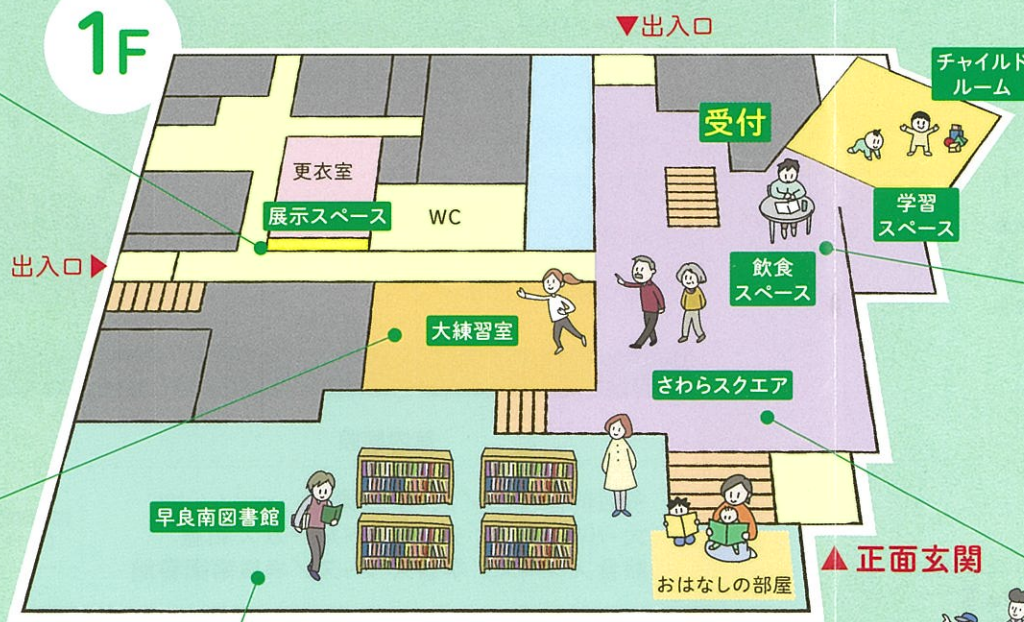
HP: <https://sawaraminami-koryu.jp>



2F



1F



### 早良南図書館

早良南図書館は、約6万冊の蔵書をそなえる市内11番目の図書館分館です。



#### 11/6 こけら落としコンサート

##### 二人のオペラ歌手と九州室内合奏団による記念コンサート

要整理券

[開場]13:00 [開演]14:00

出演は2名のオペラ歌手と九州室内合奏団。ともてらす早良の前途を祝すひとときを、ぜひ一緒に。



〈出演〉

- 蓮井求道(バリトン)
- 板波利加(ソプラノ)
- ピアノ 西書子
- ファーストヴァイオリン 山下大樹
- セカンドヴァイオリン 君付理沙子
- ヴィオラ 山下典道
- チェロ 原田哲男

チケット

「往復はがき」による応募が必要です。  
(10/5(火)必切)  
詳細はともてらす早良HPをご覧ください。

### 多目的ホール

#### 11/7 早良の芸能

9:00 ▶ 17:30

早良区内で活動されている皆さまが出演。地域の芸能が多数披露されます。

ピックアップ

#### 野和太鼓

16:00 ▶ 17:30

早良区野芥地区で結成され、さまざまな場所で活動する和太鼓集団。10代から20代のメンバーを中心に大迫力の演奏を披露します。



### 飲食スペース

#### 11/6 琴の演奏

9:00 ▶ 15:00

邦楽集団 松生会による三面の箏(こと)演奏。古典から現代曲までの箏演奏をお楽しみいただけます。



### さわらスクエア

#### 11/6 呈茶

要茶券

- ①11:15~ ②12:15~ ③13:15~
- ④14:15~ ※時間は変更になる場合があります

ご来館の皆さまにお抹茶(干菓子付)をふるまいます。茶券は数に限りがありますので、当日受付にてお申し出ください。



### 屋外スペース

#### 11/6・7 マルシェ

屋外スペースでは、この2日間ともマルシェが開催されます。

##### さわらふれあいマルシェ

6日 11:00 ▶ 17:00

地域内外から30超ブースが軒を連ねる他、キッズエリアやグルメ出展も。

##### 早良みなみマルシェ

7日 10:00 ▶ 15:00

早良区南部地域の新鮮な野菜や食材、雑貨、伝統工芸品などを販売しますので、ぜひご来場ください。

この他にも楽しいプログラムをご用意してお待ちしています!



開館記念イベントとして、作家の角田光代さんをお招きします。  
本をテーマに様々なお話を伺いますので、ぜひご応募ください。



撮影: 産見健吾

## 角田光代氏トークショー

11/13(土) 開場 13:00 開演 14:00

会場 ともてらす早良2階 多目的ホール

定員 100名

チケット 「往復はがき」による応募が必要です。  
詳細はともてらす早良HPをご覧ください。

入場  
無料  
要整理券

角田 光代(かくだ みつよ)

神奈川県生まれ。「対岸の彼女」で直木賞、「八日目の蟬」で中央公論文芸賞、「紙の月」で柴田錬三郎賞を受賞。著書に「かなたの子」、「私のなかの彼女」、「愛がなんだ」、「坂の途中の家」など多数。

CARD

### 貸出カード作成に ついて

現在市内図書館の「貸出カード」をお持ちの方はそのまま利用することができます。有効期限が切れている方や紛失された方は、更新・再発行の手続きをお願いいたします。お持ちでない方は、事前に総合図書館、各分館やアマカス図書室で作成されるか、早良南図書館の開館をお待ちください。

## オープニング関連イベント、ぞくぞく!!

### 第7回 ともてらす寄席 『立川生志落語会』

11/21(日)

開場 13:30 場所 多目的ホール  
開演 14:00 料金 全席自由3,000円

ともてらす早良がお届けする落語会、その名も「ともてらす寄席」。東西の人気噺家が笑いの花を咲かせます。第一回は立川生志が登場。お楽しみに。

〈チケット:10月1日販売開始〉  
●ローソンLコード:84001 ●セブンイレブンPコード:508-412

### 11/28(日) 開場 11:00/14:00 (2公演)

## ハッピーコンサート

出演 はるる(アイリッシュハーブ)、古賀久美子(クラリネット)

場所 チャイルドルーム

料金 全席自由 500円 (0歳~大人)

各ステージ 限定15組

子育てを頑張っているママやパパ、小さくてコンサートに行けない未就園のお子さんに生の演奏をお届けします。親子でハーブとクラリネットの音色に包まれるひとときをお楽しみください。

チケット10月1日販売開始

### 12/4(土) 11(土) 18(土)

## さわら親子能教室

時間 午前の稽古10:30~12:30  
午後の稽古13:30~15:30

受講費 親子一組2,000円

講師 今村嘉太郎・吉住講・田中達

早良区在住の能楽師を講師に迎えた親子能教室を開催します。最終日には一般向け発表会を開催。能楽は、今も昔も変わらない普遍的な日本人の心に触れることができる芸能です。親子で体験してみませんか?

申し込み受付中

### 12/11(土) 開場 13:30 開演 14:00

## クリスマス 津軽三味線コンサート

出演 浅野 祥 場所 多目的ホール

料金 全席自由 3,000円

浅野祥はこれまでに受賞多数、津軽三味線界に旋風を巻き起こしている奏者です。ともてらす早良に津軽三味線の音色が響き渡ります。ちょっと早いクリスマスコンサートをお楽しみください。

チケット10月1日販売開始

●ローソンLコード:84039  
●セブンイレブンPコード:204-360

★各イベントのお問い合わせは、ともてらす早良まで★

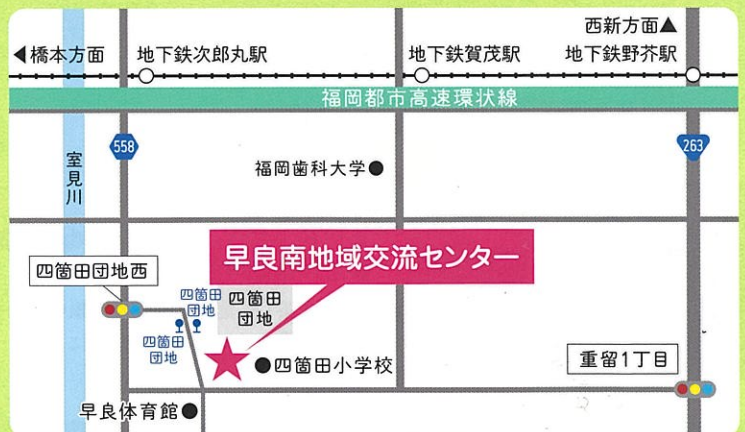
福岡市早良南地域交流センター  
**ともてらす早良**  
〒814-0176 福岡市早良区四箇田団地9番1号  
TEL 092-812-3312  
メール info\_sawara@nkanzai.co.jp  
https://sawaraminami-koryu.jp

HP



交通  
アクセス

博多・天神・西新・藤崎方面より  
【西鉄バス】2, 2-1, 19, 201, 501, 502, 306, 93系統  
「四箇田団地」バス停から徒歩4分





## 早良南図書館の状況

図書館エントランス



書架



受付・相談カウンター



おはなしのへや入口



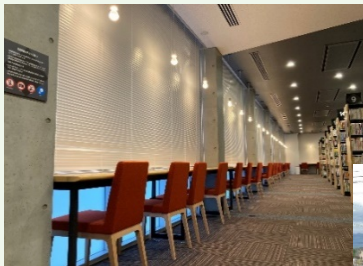
受付・相談カウンター周辺



おはなしのへや



閲覧席(50席)





# さわら

区のマーク

人口 **222,248人**(前月比22人増) 男 104,398人 女 117,850人世帯数 **101,852世帯**(前月比52世帯増)(令和3年9月1日現在推計)早良区役所 代表電話 ☎841-2131  
〒814-8501 早良区百道二丁目1-1入部出張所 ☎804-2011  
〒811-1102 早良区東入部二丁目14-8●区ホームページは「早良区」で検索  
●一人一花運動の取り組みも紹介中

●区フェイスブックは「早良区情報玉手箱」で検索



区ホームページ



色付き始めるサザエさん通りのイチョウ

期=日時 所=場所 問=問い合わせ ☎=電話 F=ファクス 対=対象 定=定員 料=料金、費用 持=持参 託=託児 申=申し込み 電=メール 開=開館時間 休=休館日

## 11月にオープン！ ともてらす早良(早良南地域交流センター)

11月6日(土)午前11時に区中南部地域の交流拠点となる「ともてらす早良」が開館します。多目的ホールや図書館、大小会議室、練習室など備え、幅広い世代の学びの場・活発な地域交流の場として皆さんに愛される施設を目指します。

センター各施設のさまざまな特長を紹介します。

問ともてらす早良(四箇田団地9-1) ☎812-3312 F400-0086



### 環境への取り組み

ともてらす早良では、次の通り環境に配慮した取り組みを行っており、標準的なエネルギー消費量の30%以上を削減しています。

- 屋上に太陽光発電設備を設置
- 屋根に降った雨を貯水して、浄化後、トイレの洗浄水や植栽の散水に利用
- ヒートアイランド現象の緩和や空調負荷軽減を図るため、屋上を緑化
- オールLED照明の採用、人感センサーや明るさセンサーによる調光
- 外の空気を一度、地中内のチューブに通すことで、夏は外気より涼しい空気を、冬は外気より暖かい空気を取り入れることができる省エネシステム「クールヒートピット」を導入

### 施設の予約について

事前予約が必要な施設の予約は、市公共施設案内・予約システム(「コミネット」で検索)ですか、同センターで受け付けています。スマホは上コードからアクセスを。



問ともてらす早良 ☎812-3312 F400-0086  
(平日午前10時～午後5時)

### ともてらす早良で行われるイベントのお知らせ

開館を記念して11月6日(土)と7日(日)にオープニングイベントを開催します。期間中は、太鼓の演奏会や市民参加型演劇の公演(いずれも申し込み不要、入場無料)や、屋外で飲食や買い物が楽しめるマルシェなど、さまざまなイベントを実施します。

また、今後も下表の通りイベントを開催します。いずれも事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

問ともてらす早良 ☎812-3312 F400-0086

開催日	内容
11/21(日)	ともてらす寄席
11/28(日)	バギーコンサート
12/11(土)	津軽三味線コンサート
1/10(月・祝)	声楽アンサンブル

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更や中止となる場合があります。

#### ① 早良南図書館

約6万冊の蔵書を備え、窓から区の豊かな自然が見える閲覧席や子どもを対象に読み聞かせを行う「おはなしのへや」があります。

#### ②③ 練習室

要予約

建物の床や壁と部屋の間に緩衝材や隙間を設け、振動を伝えにくくする「浮き構造」を採用しています。防音性能に優れ、音漏れを気にせず楽器やダンスの練習をすることができます。有料でピアノやドラムセットの貸し出しも行っています。

#### ④ チャイルドルーム

未就学児とその保護者が自由に遊べるスペースです。おもちゃ替えや授乳ができる「赤ちゃんの駅」も備えています。

#### ⑤ 多目的ホール

要予約

最大300人を収容でき、客席は収納することもできます。また、音響に配慮した空間設計になっているので、音楽や演劇、ダンスなど幅広い演目での利用が可能です。

博多織で製作されたステージの緞帳(どんちょう)は、当センターをイメージしてデザインされました。

#### ⑥⑦ ホワイエ、Green roof

グリーン ルーフ

壁一面がガラス張りできており、油山を見渡すことができる開放的な空間です。また、屋外に出ることができ、屋上花壇と豊かな自然を感じることができます。

#### ⑧⑨ 会議室

要予約

大小2つの会議室があり、大会議室は108人、小会議室は36人まで利用することができます。

※大会議室は3分割での利用が可能です、その場合の定員は36人です。

